

西米良神楽(神社大祭)を見に行く際の心構えについて

そもそも、神社大祭とは？

神社大祭は「神に仕えまつる」という心で先祖代々、受け継がれてきたものです。一年の豊穰を神に感謝し、一年の疲れを皆で癒し、これからまた一年の幸を祈ります。夜の7時から翌朝7時まで、夜通し、舞い続けます。

◆神社大祭(夜神楽)への参加について

神社大祭にはどなたでもご参加いただけますが、「神事」となりますので参列者の一人としてご参加ください。

◆参列者としての礼儀について

入場料は必要ありませんが、礼儀として「初穂料」や「寸志(焼酎二升)」を奉納する習わしがあります。神社大祭は、その地区の氏子会(うじこかい)によって運営されています。ですので、初穂料や寸志は観賞料や食事代ではなく、あくまでも感謝の気持ちとなります。初穂料ならば三千元～五千元程度、寸志としてならば焼酎二～三本程度が一般的です。受付が設置されていますので、そちらにいる氏子会へお渡しください。

◆寒さ対策や必要なものについて

夜通し開催されますので、防寒具(使い捨てカイロ、膝掛け、毛布など)の準備をお願いします。食べものについては、各地区の婦人会による販売がありますが、真夜中用のおやつ、飲み物なども持参いただくといいと思います。「ふるまい」がある地区もありますが、神と人とが一緒に食事をする「直会(なおらい)」という儀式であり、食事の代わりになるものではないことをご了承ください。

暮らしの中の一部としての神楽を
どうぞ、お楽しみください。

